



市民主体のまちづくり

～これまで、そしてこれから～

地域の元気と自立について
話し合しましょう。

平成20年11月6日(木)
18:30～20:30

会場：アウガ5階 青森市男女共同参画プラザ研修室

受講料：無料 対象：一般の方《定員80名》

★あおり県民カレッジ単位認定講座 2単位

申込方法

開催日前日(必着)までに、講座名(テーマ名)、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、連絡先の電話番号を記入し、はがき、FAX又はE-mailでお申込みください。

- はがきのあて先：〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4 青森公立大学地域研究センター公開講座係
- FAX送り先：地域研究センター 017-764-1593
- E-mailアドレス：kouza@bb.nebuta.ac.jp

◆講師 NPO法人グリーンエネルギー青森常務理事事務局 局長 三上 亨
NPO法人NPO推進青森会議副理事長 柳沢 泉

◆コーディネーター 青森公立大学 教授 谷口 佳子

主催 青森公立大学 TEL 017-764-1555
URL <http://www.nebuta.ac.jp/>

市民主体のまちづくり ~これまで、そしてこれから~

三上 亨

NPO法人グリーンエネルギー青森常務理事事務局長

1957年青森市生まれ。1979年弘前大学人文学部経済学科卒業。同年より青森県労働金庫に勤務し、2002年10月退職。1999年青森公立大学大学院で経営経済学修士取得。現在、国から委嘱を受け「地域活性化伝道師」(内閣府)「地域力創造アドバイザー」(総務省)として、地域活性化の支援をしている。

市民セクターによる 地域活性化プロジェクト

20世紀は、企画セクターと行政セクターが大きな力を持った時代でした。21世紀は、これまであまり目立たなかった市民セクターが大きなカギを握っています。青森県でも、鱈ヶ沢町に700名以上の市民が1億8000万円を出資し市民風車が建設されました。また、津軽鉄道の経営危機を知った市民は、津軽鉄道サポーターズクラブを結成し、多くの協力者を巻き込み、「津鉄が元気になれば地域が元気になる。地域が元気になれば津鉄が元気になる」を合言葉に、津軽鉄道をきっかけとした地域活性化のプロジェクトに取り組んでいます。市民が自発的に、そして戦略的に取り組むまちづくりの活動が、持続的な事業として自立していくことによって、地域の新しい可能性を切り開いていきます。

柳沢 泉

NPO法人NPO推進青森会議副理事長

1958年東京都生まれ。東京経済大学経営学部卒業。証券会社勤務ののち、結婚を機に青森県に移住。2008年日本大学大学院総合社会情報研究科博士前期課程修了。現在、青森県森林審議委員・行財政改革推進委員・青森県総合計画審議会委員他を務める。

地域の農業をいかした コミュニティ・ビジネス

食料自給率118%の青森県は、わが国の食糧基地として期待されています。一方で高齢化が進む日本社会の中でも、とりわけ問題視されているのが「農業」です。農業の現場では耕作放棄地の増加や後継者不足など、多くの課題が山積しています。そんな中でもキラリと光る農業者を応援したくて企業組合「あっぷるぴゅあ」を設立しました。青森県産の野菜や果物の魅力を、パワーユーザーネットワークの構築により広く紹介しています。地域に根ざしたコミュニティ・ビジネスを通じて、自立した地域社会を作っていくことを目指しています。「ものを作る人」は新しい価値を生み出していく力に溢れています。新しい価値や新しい農業のあり方を農業者の方たちと一緒に創り出していきたいと思っています。